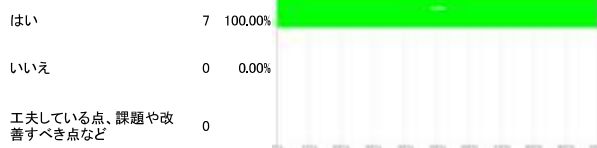


職員による自己評価【つばさクラブ】

回収期間：2021年11月6日～2021年11月16日
サンプル数：7 / 7 回収率：100.00% 設問数：50

※「工夫している点、課題や改善すべき点など」に記述して、「はい」「いいえ」などの選択肢を選んでいる回答が含まれるため、合計が100%にならないことがあります。

Q1：利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか



Q2：職員の配置数は適切であるか



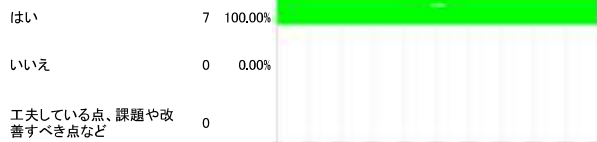
Q3：生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか



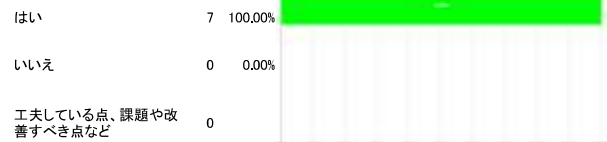
Q4：生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか



Q5：業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか



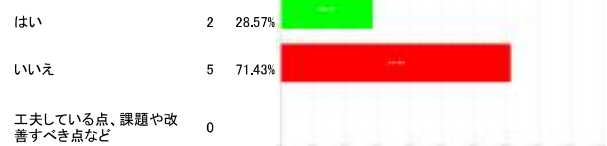
Q6：保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか



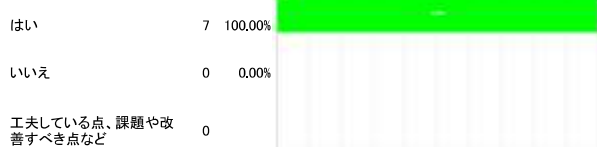
Q7：事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか



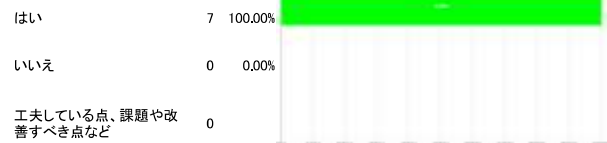
Q8：第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか



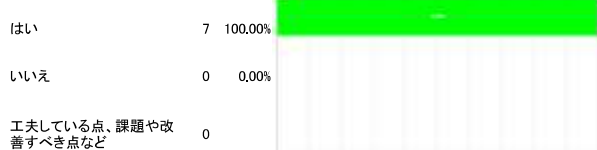
Q9：職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか



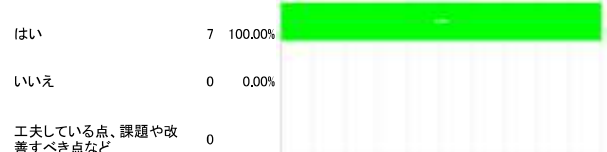
Q10：子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか



Q11：アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成しているか



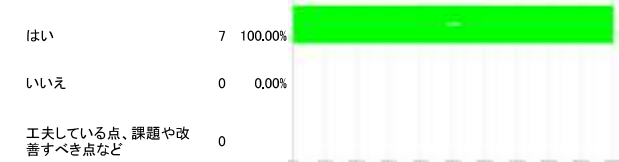
Q12：子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画を作成しているか



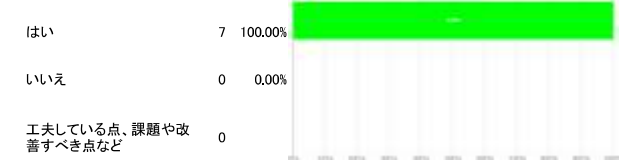
Q13：児童発達支援計画には、「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、放課後等デイサービス計画には、基本活動を複数組み合わせた上で、具体的な支援内容が設定されているか



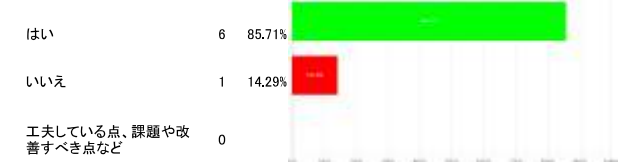
Q15：チーム全体での活動プログラムの立案を行っているか



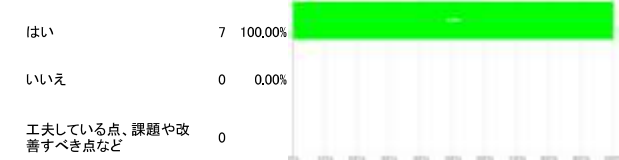
Q17：平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか



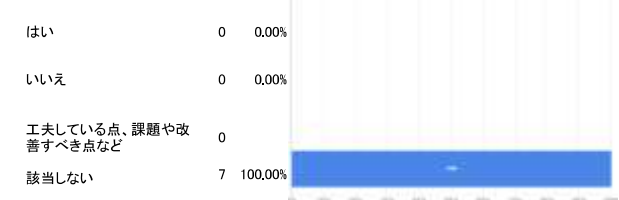
Q19：支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか



Q21：定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか



Q23：児童発達支援事業所では、母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか



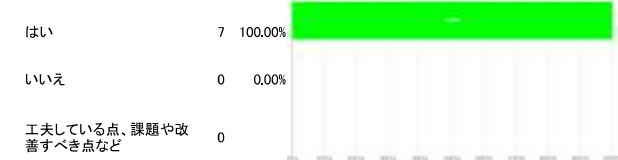
Q14：児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援を実施しているか



Q16：活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか



Q18：支援開始前には、職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか



Q20：日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか



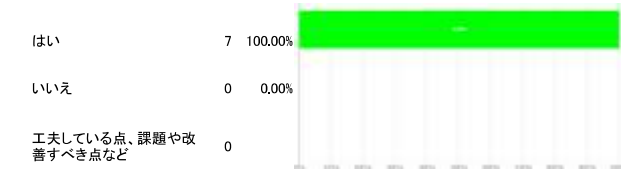
Q22：子どもの状況に精通した最もふさわしい者が障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に参画しているか



Q24：放課後等デイサービスでは、就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか



Q25：保育園、幼稚園、学校等との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか

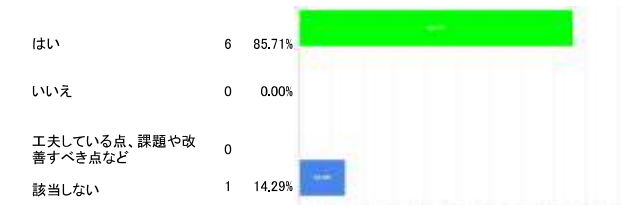


Q27：（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか

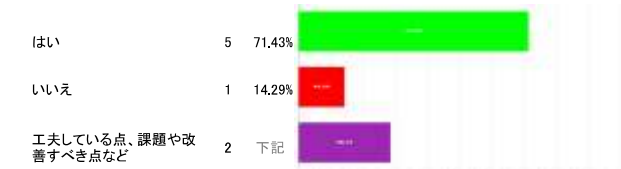


・通院がある子の場合、服薬や薬の種類などに変更があった場合は母に聞いている

Q29：学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか

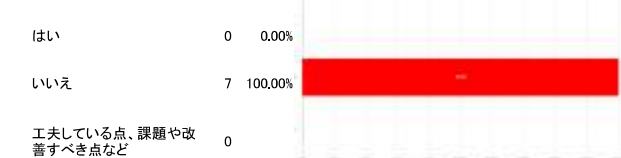


Q31：児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか

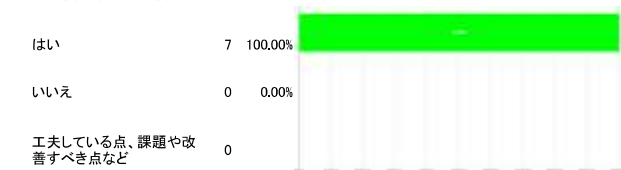


・地域の公園で、遊ぶようにしている。地元の子どもたちと一緒に遊ぶ事がある
・活動場所での交流はたまにある

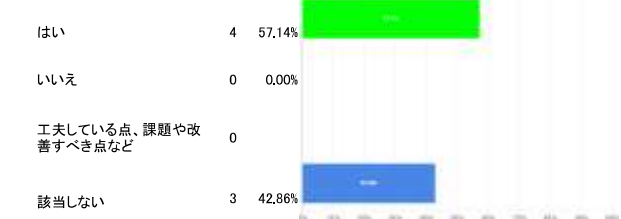
Q33：（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか



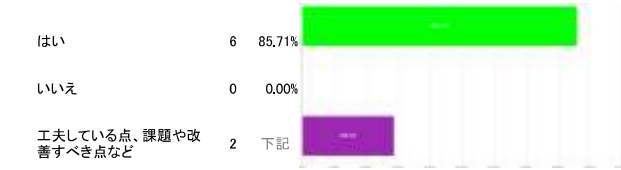
Q35：各ガイドラインに基づき作成された児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の同意を得ているか



Q26：（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか

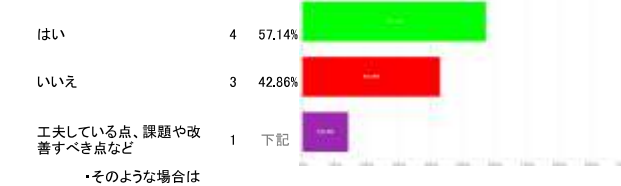


Q28：円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間での支援内容等の十分な情報共有と相互理解をはかっているか



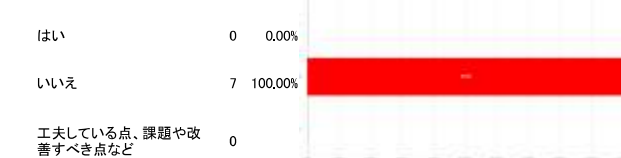
・事業所からはアクセスしているのに、学校が対応してくれない
・そのような場合は

Q30：児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか

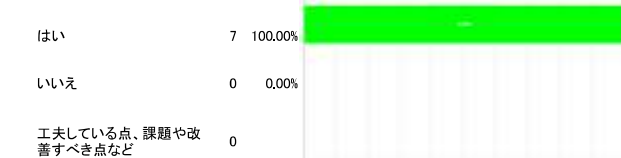


・そのような場合は

Q32：事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか



Q34：運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか

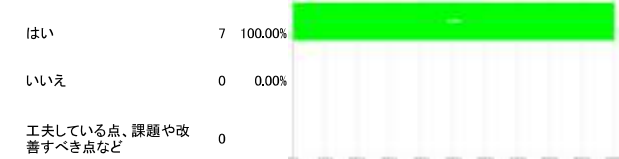


Q36：保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか

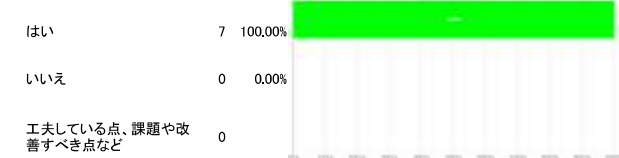


・送迎時には保護者に困りごとや悩み事を聞いたり、解決策を伝えたりしている

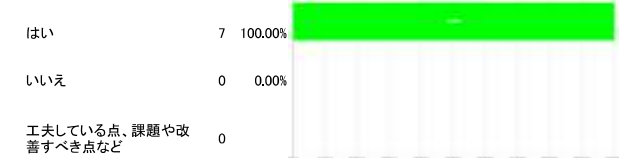
Q37：日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか



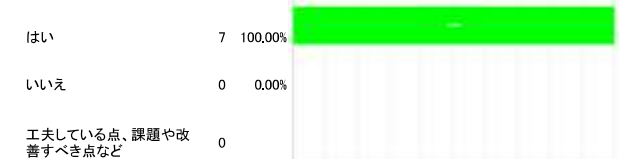
Q39：父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか



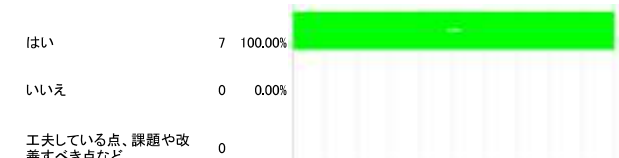
Q41：障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか



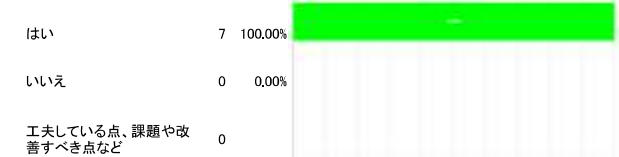
Q43：個人情報の取扱いに十分注意しているか



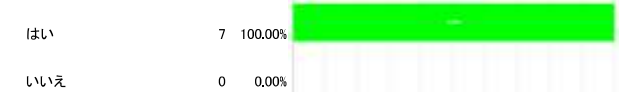
Q45：どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に又は放課後等デイサービス計画に記載しているか



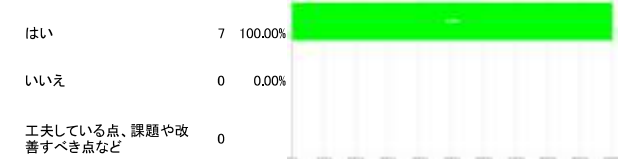
Q47：非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか



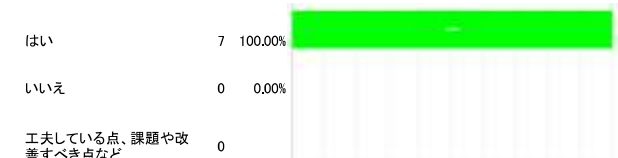
Q49：ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか



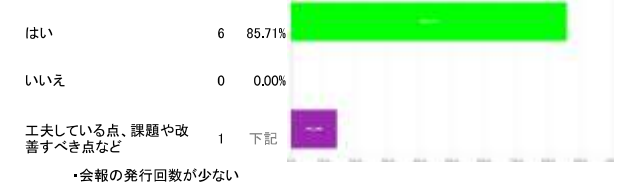
Q38：定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか



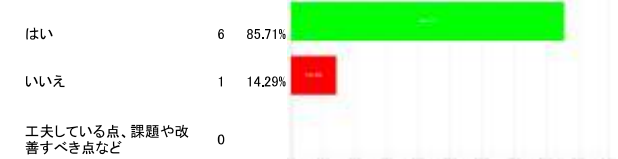
Q40：子どもや保護者からの相談や苦情・申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や苦情・申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか



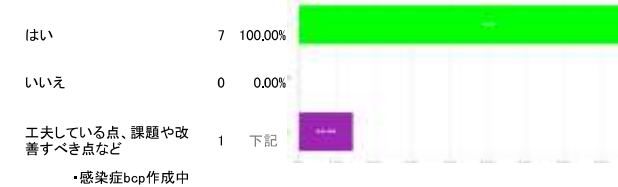
Q42：定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか



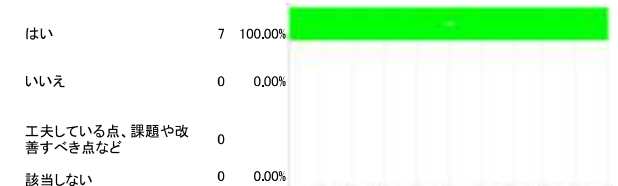
Q44：虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか



Q46：緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施



Q48：食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか



Q50：今までの項目で書ききれなかったことがあればご記入ください
回答記述なし